

人口減少対策

定住促進には働く場が不可欠では 仕事でなく住居のことが多い



あさの しゅういち
浅野 修一 議員

問 移住者、移住希望者の中には、働く場が無く断念し町外を選択する方が少なからずいるようであり、人口減少対策として早急な職場づくりの必要性を強く感じている。町としての課題や対策はどのようなものか。

答 村越企画調整室長

移住に関し、断念せざるを得ない理由について正確な統計こそないが、仕事ではなく住居のことが多いかと考える。

また、ライフスタイル（その人らしい生き方）に合わないといった課題もあり、移住支援策として現在は事業計画協議等においても空き家改修等に対する補助制度のあり方を含め総合的に検討している。

問 これまでの人口増減

データによる試算などを行っていると思うが、今後、町における年度末人口をどの様に推計しているか。

答 村越企画調整室長

令和8年8月末現在の人口が9554名。
2030年の推計人口として7917名という統計上の推計を持っている。

問 総合戦略において、

それぞれの部署に支援策があるが、各担当課室における今後の対応と対策について問う。

答 今西海洋森林課長

一次産業を守ることで、人口増に結びつける。

漁業施策における職場づくり、または後継者育成について新規漁業就業者事業を基本施策とし、後継者の確保、育成に取り組んでいる。

林業施策では、緑の雇用事業を基本施策とし、幡東森林組合を中心に、地元雇用の場や担い手の確保、育成につなげる。

答 斉藤農業振興課長

農業分野では、施設園芸を中心に生産や基盤の強化に取り組み、高収益が見込まれる新品種への支援や生産、拡大など効率化への支援で若者が就業意欲を持ち、経営基盤の確立できる農業で定住者の増加につなげたい。

答 秋森産業推進室長

地産外商により、安定した雇用を創出することを基本目標として取り組みを進めていく。

問 これまでの総合戦略

のままで是不十分ではないかと感じている。
町長の率直な思いは。

答 大西町長

人口減少対策に絞って、本当の及第点を頂けるところまで政策展開をしようとする、黒潮町すべてのリソース（※）を投入してもなお足らない規模。人口減少により不安を抱えている住民の方々の期待に応えるためにも、本町には防災という命題もあるが、行政内部組織の中だけではなく、幅広く意見を求め、広角的な施策について積極的に展開していきたいと思う。

※リソースとは【目的を達成するために必要な人・物・情報などの総称】



人口減少対策に取り組む黒潮町（写真一㊦本庁舎、㊦佐賀支所）